

平成 24 年 4 月 11 日

報道関係各社 御中

コンクリートサステナビリティ宣言について

コンクリート用化学混和剤協会
社団法人セメント協会
一般社団法人全国コンクリート製品協会
鉄鋼スラグ協会
公益社団法人日本コンクリート工学会
一般社団法人日本コンクリート診断士会
日本フライアッシュ協会

日本のコンクリート関連学・協会（7 団体）は、共同で以下の通り、「コンクリートサステナビリティ宣言」に関する記者発表を行いますのでお知らせします。

日時：平成 24 年 4 月 24 日 13:30~

**場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室 第 3 会議室
東京都千代田区麴町 1 丁目 7 番地 相互半蔵門ビル 12 階
TEL: 03 - 3263 - 1571(代表)/ FAX: 03 - 3263 - 2115**

背景

近年、サステナビリティ（持続可能性）の考え方が非常に重要となってきました。地球の限られた空間及び資源・エネルギー、並びに豊かな自然を後世の世代に引き継ぐことが現在の世代の責務であり、サステナビリティの基本的な意味です。また、人々の日常生活・生産活動が円滑にいく環境を維持することもサステナビリティという意味で忘れてはならないことを、東日本大震災が考えさせてくれました。つまり、社会基盤としてのインフラが堅牢であって初めて持続可能な社会が実現されるということです。社会基盤整備の基本材料の一つがコンクリートです。年間の生産量が世界で 200 億トンを超えているコンクリートは、現在人類の安全・安心の要の役割を果たしていると言っても過言ではありませんが、コンクリートに携わる我々には、より高度なコンクリート技術やその利用システムを開発することによって、真に持続可能な社会構築に貢献することが求められています。このような背景から、今般、サステナビリティに関するコンクリート関連の問題と今後目指すべき方向を整理し、それらを社会に対する宣言の形で明らかにするものです。

コンクリートサステナビリティ宣言の趣旨と内容

人類は、その社会的生活を営み始めた時から、快適な生活環境及び効率的な生産環境の構築のために多くの時間と労力を費やしてきましたが、農業革命と工業革命を起爆剤として地球利用の拡大が急速に進み、21世紀初頭で70億人の人口を抱えることとなりました。その結果、人類は、資源の枯渇や地球温暖化など、極めて深刻な問題に直面し、社会・経済活動の持続可能性（サステナビリティ）が求められています。社会・経済活動の基盤として土木構造物・建築物は必須となりますが、それらの建設と供用には非常に多くの天然資源やエネルギーを必要とし、地球規模で見れば今後それらの消費は著しく増大することが予測されています。

その原形がローマ時代に遡ることができるコンクリートは、その優れた特性から現在では地球上で水に次いで多く用いられている物質です。コンクリートは、強度、耐久性、耐火性、造形性などに優れた唯一無二の建設材料であることは間違いなく、コンクリートの基本材料であるセメントの発明とセメント・コンクリート技術の発展は、安全・安心な社会構築に大きく貢献してきました。

また、日本のセメント生産における省エネルギー技術は世界最高水準にあり、セメント生産においては他産業廃棄物利用も積極的に行ってきました。更に、コンクリートのリサイクル率はほぼ100%です。一方、諸外国では、自然エネルギーとコンクリートの有する蓄熱性を有効に利用することで、ゼロエネルギー建築物・マイナスエネルギー建築物の実現に資する検討もなされています。このように、我々コンクリート関連セクターは、循環型社会構築や地球温暖化の抑制にも極めて大きな役割を果たすと共に、建設におけるあらゆるステージで環境負荷低減を図る努力を行ってきました。

21世紀は、大量生産・大量消費といった20世紀の価値観を大きく転換し、持続的な社会・経済活動へ大きく舵を切ることが求められています。コンクリートの利用についても、こうした価値転換の例外ではあり得ず、コンクリート関連セクターは、さらなる革新的技術開発に挑戦し、地球環境保持と人類の持続的発展に一層貢献することが強く求められています。また、東日本大震災の復興には、コンクリートが極めて重要な役割を果たすことになることは疑いありません。

このように、コンクリート関連セクターの社会的責務は極めて重いものであることから、日本のコンクリート関連学・協会が連携して、地球環境と人類のサステナビリティの観点から「コンクリートサステナビリティ宣言」を行い、改めてコンクリート関連セクターが今後行うべきことを明らかにするものです。宣言は、以下の8項目からなります。

- (1) 社会のサステナビリティを実現するために、安全なコンクリート構造物の実現を図る。
- (2) コンクリート関連セクターにおける資源消費とCO₂排出の低減に向けた努力を続ける。
- (3) コンクリート関連セクターとして、資源循環に大きく貢献する。
- (4) コンクリートに関連する資源採取や構造物の建設において生物環境や地域環境の保

- 全・向上に努力する。
- (5) コンクリート関連ステークホルダーとの建設的なコミュニケーションにより、良質な社会・経済基盤整備を図る。
 - (6) 社会・経済基盤施設の長寿命化に今後必要な技術及びシステムの開発を行い、その利用に向けた提案を積極的に行う。
 - (7) サステナブル技術の積極的な国際展開により、環境問題解決に向けた貢献をする。
 - (8) 社会の持続可能な発展を支えるために、コンクリート関連セクターに関わる人材の育成と技術の継承を図る。

当日は、コンクリートサステナビリティ宣言をする背景をコンクリートが果たしてきた歴史的意義を含めて分かり易く説明すると共に、宣言内容の詳細と、今後宣言を具体的に実現するための組織・戦略について発表します。

(本件に関するお問い合わせ)

公益社団法人日本コンクリート工学会/サステナビリティ委員会・委員長

堺 孝司 (香川大学・教授)

TEL: 087-864-2152 E-mail: sakai@eng.kagawa-u.ac.jp

あるいは、公益社団法人日本コンクリート工学会事務局

井上和久

TEL: 03 - 3263 -1571(代表) FAX: 03 -3263 -2115 E-mail: inoue@jci-net.or.jp

会場設営準備の都合があるので、御出席の場合は、大変恐縮ですが、上記事務局 (井上) までメールまたは別紙FAXにて4月20日(金)までにお知らせください。